

第7回 関東地区高校放送コンクール（神奈川大会）開催要項

- 1 目 的 関東地区（東京、埼玉、群馬、栃木、茨城、千葉、山梨、神奈川）の高等学校で、校内放送に係わっている生徒の資質の向上を図ると共に、生徒相互の交流を深め、今後の放送活動に生かす。
- 2 日 時 平成22年 1月24日(日) 9:10~16:30 (予定)
受 付 9:10~9:40 (全部門ともこの間に受付を済ませて下さい)
開会式 9:50~ コンクール開始 10:10
終 了 16:30 (予定)
※「朗読」「アナウンス」と番組部門（「ビデオメッセージ（VM）」
「オーディオピクチャー（AP）」）の順で行います。
- 3 会 場 横浜市開港記念会館
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1-6 TEL 045-201-0708 FAX045-201-263
(アクセス) ・JR根岸線利用 (JR横浜駅から根岸線約5分)
関内駅下車 南口から徒歩10分
・横浜市営地下鉄線利用
関内駅下車 出口1から徒歩10分
・みなとみらい線 (東急東横線乗り入れ)
日本大通り駅下車 出口1から徒歩1分
※最後のページに会場までの地図が載せてあります。
- 4 主 催 関東地区高等学校文化連盟 関東地区高等学校文化連盟放送部会
- 5 共 催 神奈川県教育委員会 神奈川県高等学校文化連盟
- 6 主 管 神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部会
- 7 後 援 横浜市教育委員会 t v k テレビ神奈川 FM横浜 ラジオ日本
- 8 協 賛 日本工学院専門学校 東京工芸大学 関東学院大学
- 9 実施部門 1) アナウンス部門 2) 朗読部門
3) ビデオメッセージ（VM）部門 4) オーディオピクチャー（AP）部門
- 10 参加資格 平成22年1月1日現在、当該都県の高等学校文化連盟に所属している学校の1、2年生およびその作品で、当該都県の高等学校文化連盟から推薦を受けたものとする。
- 11 参加数 1) アナウンス部門 3名以内
2) 朗読部門 3名以内
3) オーディオピクチャー（AP）部門 1作品以内
4) ビデオメッセージ（VM）部門 1作品以内
※アナウンス・朗読部門の両方に同じ生徒は参加できない
- 12 参加要項
I 発表・出品基準
(1) アナウンス部門
ア 郷土(都県内に限る)の話題を関東地区の仲間に伝える内容の自作原稿とする。
ただし、校内の域にとどまっている話題は不可とする。
イ 発表時間は、エントリー番号、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とする。
ウ デジタル静止画像を使用することができる。
エ デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当するが、希望により発表校で行うこともできる。

(2) 朗読部門

- ア 郷土(都県内に限る)ゆかりの作品、または郷土(都県内に限る)ゆかりの作家が書いた作品の中から原文の一部を選んで原稿とする。
- イ 発表時間は、エントリー番号、学校名、氏名、作者名、作品名を含めて2分以内とする。
- ウ 効果音やBGMを併用することができる。
- エ 音声の再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当するが、希望により発表校で行うこともできる。
- オ デジタル静止画像は使用できない。

(3) オーディオピクチャー (AP) 部門

- ア MDによるステレオ音声とデジタル静止画像を併用する郷土(都県内に限る)の話題を取り上げた内容の自校オリジナル作品とする。内容や手法(ドキュメンタリー形式、ドラマ形式等)は自由だが、ステレオ音声や静止画像の特性を生かした斬新な作品を期待する。
- イ 発表時間は5分以内とする。(計時は、音声・映像のどちらかが出たところから、両方が消えたところまたはクレジットコール終了までとする。)
- ウ デジタル静止画像の投影とMDの再生は、発表校が行う。デジタル静止画像はJ P E G形式の画像を使い、ビデオプロジェクターの使用は1台とする。ビデオプロジェクターは主催者が用意する
- エ デジタル静止画像の再生は、パソコンに標準添付されている「Windows Picture and Fax Viewer」を使用する。
- オ デジタル静止画像再生のためのコンピュータは、主催者側で用意する。

(4) ビデオメッセージ (VM) 部門

- ア 郷土(都県内に限る)に関する話題を取り上げた自校オリジナルのビデオ作品(ビデオカメラで撮影した映像を主体とした作品)とする。内容、手法は自由とし、できるだけユニークな作品を期待する。
- イ 発表時間は5分以内とする
- ウ 作品の再生は、開催県とする。

II 規格

(1) アナウンス部門

- ア デジタル静止画像は、J P E G形式で5画像以内とし、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影する。
- イ 静止画像のサイズは、1画像あたりX G A (1024×768ピクセル)サイズ程度とすること。
- ウ デジタル静止画像のデータは、C D - R に保存し、そこに直接 部門名、学校名、作品名(タイトル)を記入して、ケースに入れて提出する。なお、静止画像のナンバーは、「各学校名001」、「各学校名002」…のように送出順に打つものとする。

(2) 朗読部門

- ア 効果音やBGMは、MDに1作品分を再生順に録音したものとする。
- イ MDの録音は、標準モードとしM D L PやH i - M D等は不可とする。
- ウ ディスクエラーに備えて、MDの他に同じ内容のカセットテープも提出すること。

(3) オーディオピクチャー (AP) 部門

- ア MDによるステレオ音声とJ P E G形式のデジタル静止画像(50画像以内、総容量50MB以内)を併用する作品とすること。
- イ 音声はMDに1作品分を再生順にトラックを1つにまとめて、標準モードで録音したものとする。M D L P、H i - M D等は不可とする。再生は「ステレオ再生」とする。
- ウ ディスクエラーに備えて、MDの他に同じ内容のカセットテープも提出すること。バックアップ用のカセットテープは、A面のリーダーテープ直後から録音する。また、ドルビー等のノイズリダクションは使ってはならない。再生は「ステレオ再生」とする。
- エ デジタル静止画像のデータは、1画像あたりX G A (1024×768ピクセル)サイズ程度とし、総数50画像以内(ただし、テストパターン終了後の最初の黒一面の画像と、暗転のために黒一面の画像を使用する場合には、黒画像は枚数には含めない)、総容量50MB以内とし、C D - R に保存し、そこに直接 コンテスト名、学校名、作品名(タイトル)を記入して、ケースに入れて提出する。なお、静止画像のナンバーは、001から送出順に打つものとする。

(4) ビデオメッセージ (VM) 部門

- ア 作品はV H SテープにV H S方式の標準モードで録画し、音声はH i - F i のみの使用とする。

- または、mini-DV（DV規格は民生用）の方式のテープに画面サイズ4対3で録画したものとし、テープスピードは、「標準（SP）モード」とする。この場合、音声は、「16bit stereo」、「12bit stereo 1」のいずれか一つとし、ミックス再生は行わない。
- イ テープは最初から使い、番組の前後に10秒ずつテストパターンを録画すること。（計時は、始めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする） テストパターン（静止画）はNHK大会のものを参考にする。
- ウ 作品の再生は、主催者が行う。

1.3 参加申し込み

各都県の事務局にメールの添付で送付する参加申込書（エクセル）に必要事項を記入のうえ、各都県の事務局より、平成21年12月9日（水）までに下記のアドレスに、添付ファイルで送付して下さい。なお、ファイル名は「09関東放送神奈川大会申込書〇〇県」とします。

〈申込先〉

kawamata@pen-kanagawa.ed.jp
 神奈川県立 元石川 高等学校 川 又 弘 明
 TEL 045-902-2692

※ 遅くとも申し込み締め切り日から4日後までには、「参加申込書」を受領した旨のメールをお送りします。そのメールが届かない場合には、ご連絡ください。

1.4 概要集原稿の提出

概要集の原稿を原稿様式に従って「一太郎(.jtd)」か「Word(.doc)」で作成し、各都県事務局でまとめて、下記のアドレスに添付ファイルで送付してください。

なお、ファイル名は「関東放送概要〇〇県〇〇高校△△部門」（最大8ファイル）とします。

締め切りは 平成21年12月16日（水）です。

〈送り先〉

masa-nakatsugawa@pen-kanagawa.ed.jp
 神奈川県立 大船 高等学校 中津川 雅則
 TEL 0467-47-1811

※「原稿様式 <様式b～e>」は「一太郎」で作られています。

※データをそのままパンフレットに掲載しますので、誤字・脱字等の無いようにお願いします。

1.5 作品提出

- ・ビデオメッセージ部門の作品は、当日持参して下さい。
- ・アナウンス部門の映像データ（CD-R）、朗読部門の効果音データ（MD）、オーディオピクチャー部門の音声（MD）、映像データ（CD-R）、バックアップ用のカセットテープは、各都県事務局から下記の住所に送付して下さい。締め切りは平成22年1月12日（火）です。

〈送り先〉

〒252-0803 神奈川県藤沢市今田744
 神奈川県立藤沢工科高等学校 浦田 勝也
 mail : k-urata@pen-kanagawa.ed.jp
 TEL 0466-43-3402 FAX 0466-43-4942

1.6 審査員

開催県の高等学校文化連盟放送専門部会が指名する。

専門審査員と各都府県で放送活動を指導している顧問で審査する予定です。

※貴都県の事務局から各部門1名の審査員（顧問等）を、参加申し込みの際にご推薦下さい。

なお、全ての部門で違う人物でなくてもかまいませんが、個人（アナ・朗読）部門と番組（VM・AP）部門は別な人をお願いします。また、できるだけ参加していない部門への推薦をお願いします。派遣費等の手当はできませんが、ご了承下さい。

17 表彰

- ・最優秀賞：各部門1作品
- ・優秀賞：アナウンス・朗読部門各2名(作品)、VM・AP部門各1作品
- ・優良賞：アナウンス・朗読部門各3名(作品)、VM・AP部門各1作品

18 負担金

エントリー数にかかわらず、一都県20,000円とし、コンクール当日、各都県代表者会議の席で徴収します。

19 著作権処理：

著作物に関する著作権処理は、参加校の責任において確実に行ってください。

20 その他

- 1) 「参加申し込み」「概要集原稿」「作品」の提出先がそれぞれ異なりますので、ご注意下さい。
- 2) コンクール当日、**10時30分から各都県代表者会議を予定**しております。
- 3) 前年度各部門で最優秀賞に輝いた学校は、**カップを返還**してください。返還方法は当日持参するか、1月15日(金)までに宅配便で送るか*のいずれか*でお願いします。
※宅配便で送られた場合は、大会当日、送付票の控えまたは領収書をご持参ください。精算させていただきます。
〔送り先：〒225-0004 横浜市青葉区元石川町4116 神奈川県立元石川高等学校 川又 弘明〕
- 4) 本コンクールに関するお知らせ等は、HP「<http://kanakousiken.nomaki.jp/housou/>」に掲載いたしますのでご覧下さい。

問い合わせ先

関東地区高等学校文化連盟放送部会
神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部会
関東大会事務局 川又 弘明

(神奈川県立元石川高等学校)

TEL. 045-902-2692 FAX. 045-902-8948

mail : kawamata@pen-kanagawa.ed.jp

【ラベル様式】

* 下記と同様の内容が書かれたラベルを、参加校が作成し、VTRテープ本体およびケース、MD本体およびケース、CD-Rケースに貼付して提出してください。

また、CD-R本体には直接 **コンテスト名**、**学校名**、**作品名(タイトル)** を記入してください。

〔VTRテープ本体およびケース用〕

第7回関東地区高校放送コンクール参加作品	
学校名	
タイトル	
部 門	ビデオメッセージ

〔CD-R、カセットテープケース用〕

第7回関東地区高校放送コンクール参加作品	
学校名	
タイトル	
部 門	オーディオピクチャー

※ アナウンス部門で使用する場合も同様

〔MDケース用〕

第7回関東地区高校 放送コンクール参加作品	
学校名	
タイトル	
部 門	オーディオピクチャー

〔MD本体用〕

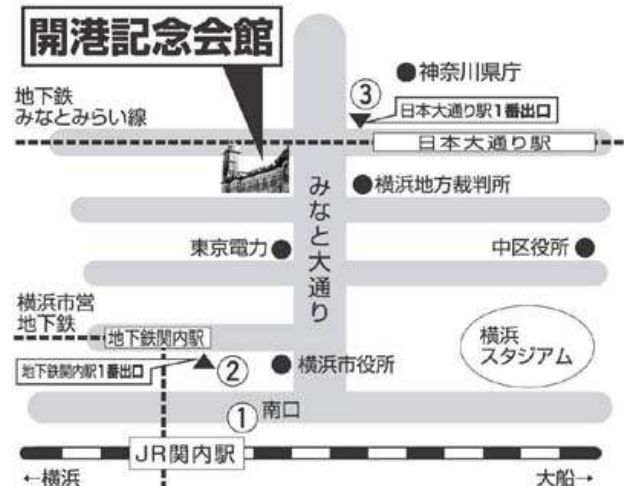
第7回関東地区高校 放送コンクール参加作品	
学校名	
タイトル	
部 門	オーディオピクチャー

※ 朗読部門で使用する場合も同様

〔バックアップカセットテープ本体用〕

校名	タイトル
----	------

〔会場周辺地図〕



マスコットキャラクター「かもえもん」